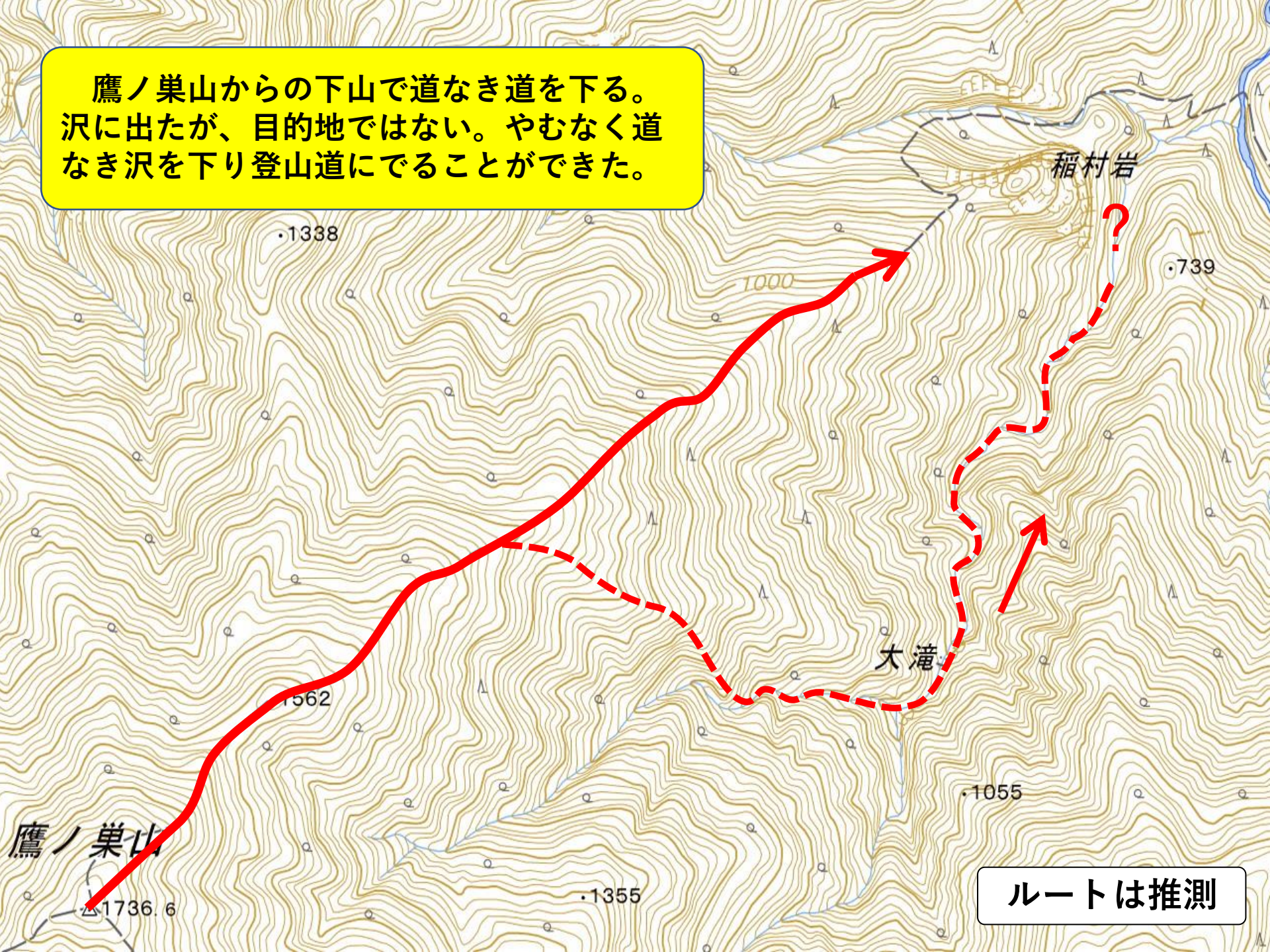


鷹ノ巣山からの下山で道なき道を下る。  
沢に出たが、目的地ではない。やむなく道  
なき沢を下り登山道にできることができた。



ルートは推測

横に広々とした道なき道を土にのめり込むように降りた。斜面はどんどん急になる。地図を見ながら、「確かにこれは尾根だ。」と自信を持って歩いていくものの、進むにつれて不安になる。足だけでは降りられなくなり、岩や根っこに掴まりながら降りる。掴んだ先の岩がボロっとはがれ、岩のかけらはスピードを速めて落下していき、周りを巻き込むと粉碎し、土砂崩れのような音が響いた。川に辿り着いたものの、橋はない。標高を確認すると、1,000m。橋があるのは600m。石を飛びこえ、岩を登り、岩を飛び降り、肩まである深さの水の中へ、全身ずぶ濡れになりながら下り、目的の橋までたどり着いた。（HP参照）

稲村岩までは、直線の1本道。しかし道迷いは、正しく歩かせてくれない。沢を歩く区間が短く、致命的な滝がなかったことが幸いした。「あれっ。おかしい」と思ったときに戻れないのが道迷い。冷静でなくなり、急斜面を進み滑落、遭難とつながるケースも多い。「冷静でなくなる」それが、道迷いである。気を付けたい。